

事業名

平城っ子フェスタ 2011

目標

明るく楽しく学べる学校園をめざし、地域・家庭・学校園が協力して様々な人々・物・出来事と関わり、感動を味わい心を動かす体験を共にする。

1. 取組の視点

・心の通い合う人間関係の大切さを学ぶために体験活動を活発にし、関わり合いを大切にするために地域の理解や啓発に努めます。

・「平城っ子フェスタ 2011」の開催
明るく楽しく学べる学校園をめざし、地域・家庭・学校園が協力して様々な人々・物・出来事と関わり、感動を味わい心を動かす体験を共にします。

・活動を通して、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養います。

2. 取組の概要

・平城っ子フェスタの開催

お手伝いに、地域の各種団体・ボランティアの皆さん 120 人近くが集まってくださいました。



知恵をしぼってひとつの事に向って進んでいくときの、一体感・エネルギー・パワーを誰もが感じたと思います。中学生の各部活単位での地域のイベントへの手伝いもあり、地域の皆さんとは子どもか孫かの年齢の学生たちの、恥じらいの中にも打ち解けた自然な態度と、思わぬ

働きぶりに、感激した方も多かったと思います。



・学校園の環境整備に努める。(花壇の整備・草刈り等)

・米、野菜、花などの栽培・みそ造り・昔遊び等を体験してもらいました。

・地域・学校園が一体となって講演会・交流会を開催しました。

3. 成果と課題

様々な活動や事業が、地域と学校との交流の場としての大きな役割も果たし、お手伝いして下さった方はもちろん、参加してくれた地域の皆さんとの間も、確実に深まりました。

大きな事業をすすめる時は大変ですが、終わった後の達成感は十分満足するものであり、反省点も含めて次回への原動力となりました。

大切なことは、地域全体で子どもを育て、教育活動の充実を図るとともに地域コミュニティの活性化です。

次年度もより一層、学校・家庭・地域が、お互いの役割を十分に理解し寄り添って子どもたちを見守っていききたいものです。

事業名 地域・家庭・学校が三位一体となり取り組む！

目標 明るく楽しく学べる学校を目指し、地域・家庭・学校が三位一体となり、様々な人々・物・出来事と関わり、感動を味わい、心を動かす体験を共にする中で、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養う。

1. 取組の視点

平城校区は、多くの文化財を有する素晴らしい地域です。近くには秋篠寺・西大寺・平城旧跡が指呼の間に点在しています。最近は、宅地開発が進み、新興住宅地が増加しています。地域の子どもは地域で育てるという原点にたち、地域・家庭・学校が一体となり、様々な人々や出来事とのふれあいを通して、感動を味わい、心を動かす体験を共にする中で、地域で信頼され、育ててもらえる生徒づくりをします。

2. 取組の概要

①地域の方や保護者との交流を深める取組

- ・花の苗植え付け(春と秋の2回)
- ・環境美化作業(トイレお掃除ボランティア・



クリーングリーン大作戦)

- ・文化発表会・文化鑑賞会・体育大会への招待(奈良県南部の台風災害への感動募金の呼びかけ)

②幼・小・地域との交流

- ・出前で部活交流(サッカー部と幼稚園児の交流、野球部と小学生の交流、吹奏楽部と介護老人ホームの方々との交流、美術・家庭科部のマ

ーブル祭りへの参加等。)

- ・平城っ子フェスタ2011への参加協力(高石ともやステージの開催、模擬店での販売協力、未就園児・幼稚園児・小学生との部活動交流)



- ・職場体験学習を通しての、地域の方々や保育所・幼稚園・各事業所等での交流
- ・地域ギャラリー・あきしの画廊(正面玄関入り口に開設)へ、地域の方々に書いていただいた、書や和歌を展示する。

3. 成果と課題

様々な場面で、幼稚園・小学校・家庭・地域との交流の場が広がり、多くの人に学校へ足を向けていただく機会が増えてきています。今年以上の繋がりを深めていくために、次年度のテーマを「食育と農業」とし、幼・小・中・地域が連携できる年間計画を作成し、これまで以上にPTAと地域の人たちの協力を得て、単発的なイベントに終わらないように取り組んでいきたいです。その一つの成果や結果の発表の場として、「平城“食と農”ふれあいフェア2012」で、参加発表したいです。

事業名

目 標

平城から学び、平城で学ぶ～こころ、からだ、くらしづくり～
地域・家庭・学校が三位一体となり、様々な人々・物・出来事と
関わり、感動を味わい、心を動かす体験を共にする中で、豊かな
心や規範意識、達成感、成就感を養う。

1. 取組の視点

野菜の栽培やみそ造り、昔遊びなどで地域の方に教えていただいて体験学習をし、地域の方とふれ合う中で意欲を引き出したり、達成感・成就感を味あわせるとともに、地域の中で大勢の人に見守られながら暮らしていることに気付くような学習経験を増やしていきたいと考えています。また、地域の方や仲間との豊かなコミュニケーションがとれるよう情操と言語力を養うために、「朝の読書タイム」に取り組んでいますが、そのための学級図書の充実に努めました。

2. 取組の概要

◎食に関する栽培体験学習

学級園や地域の方にお借りしている畑を使って、野菜の栽培をしています。収穫した後は家庭で調理してもらったり、校内で調理していただいたりしています。毎日熱心に水やりをして成長を楽しみながら観察している児童の姿が見られました。自分たちが作った野菜は喜んで食べる児童が多いです。

水田をお借りしての米作り体験では、地域の方から米作りの苦労や喜びを学んだことを追体験することで、米作りへの理解がより深まりました。不揃いで農機が使えなくなるのに、「子どもたちのために」と協力してくださいました。収穫した新米を使っておにぎりを作り、感謝しながらおいしくいただきました。



◎地域とのふれあい

地域の「名人さん」に昔遊びを教えてもらい、名人さんと遊んだり、友だちと遊んだりして楽し

みました。

地域の方に教えてもらって手作り味噌を仕込み、半年後熟成した味噌を使って家庭科で味噌汁作りの調理実習をしました。お世話になった方を招待して、「米・味噌感謝会」を開き、味噌汁・おにぎりを一緒にいただきました。いただきながら、地域の方とふれ合うことができ、改めて成就感と感謝の気持ちを持つことができました。



また、「車いすサッカー体験」「盲導犬学習」「老人福祉施設との交流会」など、地域の方の協力を得て児童の人権にかかわる学習をより深めることができました。

◎平城っ子フェスタ 2011への参加

午前中の小学校会場では、体育館でのステージ発表、各教室での参観授業、校内作品展を開催し、最後に参加者全員で、願いを込めた1,200個の風船を大空に放ちました。午後からの中学校会場では、校区各団体と一緒に教員がゲームコーナーと綿菓子、ヨーヨーすくいのブースを出店し、地域の方と一緒に楽しい時間を過ごしました。

3. 成果と課題

体験することで児童の理解が深まり、達成感・成就感を養うことができました。児童だけでなく、教師にも地域の方との交流が生まれてきました。このことが、「先生が地域に入ってきてくれた。」との評価につながり、地域の協力がより得られるようになってきました。

今後も、各学年の発達段階を考えた体験学習を整理し、児童の成長により効果的な体験学習を地域の協力を得て進めていきたいと考えています。

事業名 **様々な感動体験を通して輝け夢いっぱい！平城っ子**

目標 地域・家庭・学校園が三位一体となり、様々な人々・物・出来事と関わり、感動を味わい、心を動かす体験を共にする中で、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養う。

1. 取組の視点

本園は自然環境には恵まれています。子どもの遊び場が少なく核家族化も進み、人や自然とのかわりかたで心動かす体験が少なくなっている現状が見られます。そこで事業の取組として、様々な人々・物・出来事と関わり、感動を味わい心を動かす実体験を、地域の方々や保護者と連携して継続して積み重ねてきています。今年度は、地域の教育力を活かした保育内容の創意工夫に努めました。

2. 取組の概要

＜地域の方々や保護者との交流＞

「親子交通安全教室と登降園の見守り」

毎日、平城こども安全ボランティアの支援の方々、園児・保護者の登降園を見守り続けてくださっています。声かけや指導で親子共に安全への意識が高まり、感謝の気持ちが言葉や態度で伝えられてきました。

「みんなで遊ぼう」



(折り紙遊び)



(カプラワークショップ)

折り紙遊びで、地域の方に「かぶと」の折り方を教えてもらい、折る楽しさと共に地域の方を身近に感じました。

カプラの遊びでは、遊具に興味をもち工夫して組み立てるおもしろさや、ダイナミックに作り上げる楽しさを親子で実体験しました。

お話の会で、「のはらうた」の方々に絵本の読み聞かせをしてもらったり、高齢者の方々との交流で、訪問して子ども達の姿を見てもらったりしたことで、お互いに親しみを深め温かい交流の機会

となりました。

「栽培活動と環境整備（わくわく広場）」

栽培活動では自然から様々な感動を味わいました。また、園内の環境整備を年間計画に位置づけ、園児・保護者・教職員・地域の方々と実施したことで自分達の生活や遊びの場をきれいにしていく態度が育ってきました。

「平城っ子フェスタ 2011」

公開保育と作品展を実施しました。親子で小・中学校の行事にも参加し、地域の方々とも親しく関わり、幼・小・中・地域が一体となる取組となりました。



＜小・中学校との交流＞

・小学校とは、年間計画をたて交流しました。おもちゃ大会（1・2年）、運動遊び（5年）、昔遊び、運動会のかげっこ等内容も増え学年も広がり一歩進んだ交流ができました。

・中学校とは、出前教室、職場体験、園外保育を通して交流し、子ども達はあこがれや尊敬の気持ちをもちました。

＜未就園児との交流＞

・月一回、未就園児「ひまわり組」を実施しました。親子登園で幼稚園の様子を知ってもらい、入園を楽しみにしています。

3. 成果と課題

幼稚園での様々な取組を、園やクラスのたより、掲示板等を通して情報発信をし、写真やエピソードを加えてわかりやすく時期をのがさず伝えました。このことが啓発に繋がりました。コーディネーターの方々との連携を密にして、支援に活かしていきたいです。